

林業型施業区の間伐作業

■間伐範囲の対象となる「林業型施業区」は、面積 0.3ha、樹種トドマツ、発生年 1972 年となっています。

立木本数については、1 ヘクタールあたり 2 7 0 0 本で、間伐率を 3 0 % を予定としていました。目標伐倒数 240 本。

■作業結果

当初予定していた間伐率 30%では、伐倒時に隣接する木に引っかかり、作業効率が落ちるのと、樹冠が小さく、間伐効果がほとんどないことが分かりました。そこで、45%前後に引きあげて作業を行いました。約 330 本の間伐を行いました。



間伐後の林



無間伐の林

■搬出先

カタクリ広場の駐車場に 150 本搬出し、残りは林内の奥のほうへまとめて集積しました。また、案内板の設置予定地付近に数本ずつ、谷渡りルートのだ標のモデルとして 10 本ほど使用。

間伐材の枝は遊歩道から見えにくい位置にまとめて集積しています。

搬出の際に使用した機材はスノーモービル、小型林内作業車「やまびこ」です。

スノーモービルは片道 7 分程度（積み下ろし含め）で一度に 3m 材を 3～6 本、やまびこは片道 20 分程度で、3m～5mの材を 30 本～40 本ほど運べました。



スノーモービル



やまびこ

今後は、枝がふれあう段階まで生長後、あらためて調査のうえ検討したいと思います。
またイベント等でも広く紹介していきます。